

---

## 第 38 回 頭頸部・胸部画像研究会 プログラム

---

- 日時 : 2009 年 5 月 30 日(土) 13:00~17:40
- 会場 : 東京ステーションコンファレンス(サピアタワー) 5階  
詳細な地図を裏表紙に記載しております
- 当番世話人 胸部 叶内 哲 (埼玉県立循環器・呼吸器病センター)  
頭頸部 黒崎喜久 (慈生会病院)
- 会費 : ¥1,000 (当日徴収いたします)
- 演者へのお願い  
: 一般演題のご発表は 6 分、質疑 2 分にてお願い致します。  
発表はパソコンを使用します。基本は データの持ち込み (USB メモリー  
スティック、CD) としますが、データのコピーなど不都合が生じる場合及  
びMac の場合、ご自身のパソコンをご持参ください。
- 研究会終了後に、情報交換会を予定しております。

### <頭頸部>

代表世話人 : 山田恵子 (癌研有明病院)  
世話人 : 浮洲龍太郎 (昭和大横浜市北部病院) 尾尻博也 (慈恵医大)  
栗原宜子 (聖マリアンナ医大) 黒崎喜久 (慈生会病院)  
酒井 修 (ボストン大) 辰野 聡 (東京歯科大市川総合病院)  
田中宏子 (癌研有明病院) 塚本 浩 (静岡市立清水病院)  
豊田圭子 (帝京大医学部) 藤田晃史 (自治医科大学)  
顧問 : 多田信平

### <胸部>

代表世話人 : 南 学(筑波大)  
世話人 : 荒川浩明 (獨協医大) 岩沢多恵 (神奈川県立循環器・呼吸器)  
氏田万寿夫 (慈恵医大) 叶内 哲 (埼玉県立循環器・呼吸器)  
櫛橋民生 (昭和大横浜市北部病院)  
楠本昌彦 (国立がんセンター中央) 栗原泰之 (聖マリアンナ医大)  
甲田英一 (東邦大大橋病院) 酒井文和 (埼玉医大国際医療センター)  
佐藤雅史 (東邦大大橋病院) 中島康雄 (聖マリアンナ医大)  
横山健一 (杏林大)  
顧問 : 土井 修

共催 頭頸部・胸部画像研究会  
テルモ 株式会社

13:00 開会の辞 叶内 哲

---

13:05 一般演題(胸部) 座長:氏田万寿夫(東京慈恵会医科大学)

胸部 演題-1 巨大胸腺腫の一例.

慶應義塾大学・放射線診断科、同・病理診断部<sup>1)</sup>

杉浦弘明、陣崎雅弘、林雄一郎<sup>1)</sup>、栗林幸夫

【要旨】症例は50歳代、女性、検診異常。右胸腔の半分を占める巨大腫瘍を認め、腫瘍の頭側は充実性で、尾側では壊死が目立った。悪性の可能性が高いと予想され、腫瘍摘出術が施行された。結果は胸腺腫であった。

胸部 演題-2 多発結節と肺内転移をきたした胸膜孤立性線維性腫瘍の一例

埼玉県立循環器・呼吸器病センター 放射線科、同・呼吸器外科<sup>1)</sup>、同・病理科<sup>2)</sup>

上田みゆき、叶内 哲、星 俊子、松本寛子、池谷朋彦<sup>1)</sup>、河端美則<sup>2)</sup>

【要旨】30代の男性。9年前に左肺腫瘍を指摘。増大とともに位置が移動、CTとMRIで多結節性多発性の腫瘍が肺内外にまたがっていると予想された。手術され胸膜孤立性線維性腫瘍および隣接肺への転移と診断された。

胸部 演題-3 結核に合併した肺癌の3例の報告

神奈川県循環器・呼吸器病センター 放射線科、同・呼吸器科<sup>1)</sup>

岩澤多恵、駒形高信、高橋 宏、小倉高志<sup>1)</sup>、小松 茂<sup>1)</sup>、馬場智尚<sup>1)</sup>

【要旨】結核治療中に肺癌を合併した症例の画像所見について報告する。

胸部 演題-4 右上葉切除後に発生した中葉軸捻転の1例

川崎市立川崎病院・放射線診断科、同・呼吸器外科<sup>1)</sup>

中玉利葉月、長谷川市郎、成松芳明、澤藤 誠<sup>1)</sup>

【要旨】右上葉肺癌で右上葉切除術施行。術後に中葉の含気不良を認め、気管支鏡および胸部CTで中葉軸捻転が疑われた。緊急手術となり、中葉切除術施行。術前診断にCTが有用であった。

## 胸部 演題-5 基礎疾患のない胸壁原発の悪性リンパ腫の一例

杏林大学・放射線医学教室、同・病院病理部<sup>1)</sup>

塚原弥生、稲岡祥幸、横山健一、似鳥俊明、藤原正親<sup>1)</sup>

【要旨】胸壁悪性リンパ腫は慢性結核性膿胸に合併する膿胸関連悪性リンパ腫が殆どである。今回我々は基礎疾患のない胸壁悪性リンパ腫という比較的稀な一例を経験したので報告する。

## 胸部 演題-6 特発性上葉限局型肺線維症と考えられた一例

青梅市立総合病院・放射線科、同・病理科<sup>1)</sup>、同・胸部外科<sup>2)</sup>、同・呼吸器科<sup>3)</sup>

佐藤史郎、河合繁夫<sup>1)</sup>、白井俊純<sup>2)</sup>、磯貝 進<sup>3)</sup>、田浦新一、中港秀一郎

【要旨】症例は50歳女性、自然気胸で発症。胸部写真で両肺尖に apical cap、組織では層状の線維化があり、呼吸機能検査では進行性の拘束性障害が認められた。ゆっくりと進行する上葉に限局した肺線維症と考えられた一例を報告する。

## 胸部 演題-7 乳房温存療法後の器質化肺炎の画像所見

東京慈恵会医科大学・放射線医学講座

狩野麻実、氏田万寿夫、松井 洋、渡辺 憲、小林雅夫、砂川好光、福田国彦

【要旨】乳癌に対して乳房温存手術および術後放射線療法を施行後、器質化肺炎を発症した患者9名における胸部単純撮影あるいはCT所見について検討し、若干の文献的考察を加えて報告する。

14:05 特別講演1 「間質性肺炎とタバコ 肺の病理 ー画像診断への期待ー」  
司会:叶内 哲(埼玉県立循環器・呼吸器病センター)  
講演:河端美則 先生(埼玉県立循環器・呼吸器病センター 病理部)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

---

15:05 コーヒーブレイク(10分)

---

15:15 特別講演2 「頭頸部急性炎症性疾患の画像診断」  
司会:黒崎喜久(慈生会病院)  
講演:豊田圭子 先生(帝京大学医学部 放射線科)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

16:15 一般演題(頭頸部①) 座長:塚本 浩(静岡市立清水病院)

頭頸部 演題-1 マイラゲルを用いた網膜剥離術後合併症

関西医大滝井病院・放射線、関西医大枚方病院・放射線<sup>1)</sup>

池田耕士、前原 稔<sup>1)</sup>、米虫 敦、宇都宮啓太、播磨洋子、澤田 敏<sup>1)</sup>

【要旨】網膜剥離術後 6 症例に眼窩内に眼球を圧排する T2 強調像にて高信号の境界明瞭な嚢胞様病変が認められた。マイラゲルの変性・膨化による extrusion であり、重要な術後合併症と考えられる。

頭頸部 演題-2 甲状腺癌骨転移に対するビスホスホネート製剤治療により顎骨壊死を生じた 2 症例

癌研究会有明病院・画像診断部、同・超音波検査部<sup>1)</sup>、同・頭頸科<sup>2)</sup>、同・歯科<sup>3)</sup>

田中宏子、山田恵子<sup>1)</sup>、杉谷 巖<sup>2)</sup>、高橋美彦<sup>3)</sup>、河野 敦

【要旨】ビスホスホネート(BP)製剤は骨粗鬆症や固形癌骨転移、多発性骨髄腫などに対する有効な治療薬であるが、顎骨壊死は BP 製剤の重大な副作用として認識されている。今回、自験例 2 例を報告する。

頭頸部 演題-3 糖尿病性腎症の透析患者に発症した悪性外耳道炎の 1 例

筑波大学・放射線診断 IVR 科、同・病理部<sup>1)</sup>、同・耳鼻咽喉科<sup>2)</sup>

檜山貴志、高橋信幸、増本智彦、南 学、南 優子<sup>1)</sup>、田淵経司<sup>2)</sup>、和田哲朗<sup>2)</sup>

【要旨】79 歳男性、右耳痛・開口障害で発症、CT で外耳道から顎関節の骨破壊あり、細菌検査・生検で真菌を認めた。同様の CT 所見を呈したが確定診断には至らなかった 75 歳男性透析患者の例も参考症例として呈示する。

頭頸部 演題-4 重複をともなう内耳道低形成の一例

帝京大学医学部・放射線科

中埜良康、豊田圭子、木戸英喜、渡邊晶子、城戸内孝、東 麻子、治山高広、工富公子、高田晃一、鈴木 滋、神武 裕、竹下浩二、大場 洋、古井 滋

【要旨】症例は 5 歳女兒。主訴は右難聴。CT にて右内耳道の狭小化があり、矢状断、冠状断で内耳道の重複が認められた。MRI で顔面神経は起始部から同定されたが、聴神経ははっきりしなかった。文献的考察を加え報告する。

## 頭頸部 演題-5 腸管型ベーチェット病に生じた難治性の下咽頭潰瘍の1例

聖マリアンナ医科大学・放射線医学講座

栗原宜子、森本 毅、高橋美緒、中島康雄

【要旨】ベーチェット病主症状である口腔粘膜アフタ性潰瘍に比し、難治性咽頭潰瘍は重症だが、腸管型ベーチェット病の類縁との報告がある。今回、腸管型ベーチェット病患者の下咽頭単発、難治性下掘れ潰瘍を経験したので報告する。

---

16:55 一般演題(頭頸部②) 座長:山田恵子(癌研有明病院)

## 頭頸部 演題-6 耳下腺 Castleman 病の1例

昭和大学横浜市北部病院・放射線科、同・耳鼻科<sup>1)</sup>、同・病理科<sup>2)</sup>

児山久美子、浮洲龍太郎、八木進也、福下貴子、大場啓一郎、藤澤英文、武中泰樹、  
櫛橋民生、門倉義幸<sup>1)</sup>、塩川 章<sup>2)</sup>

【要旨】36歳、男性。右耳下部の腫脹、疼痛を主訴に当院耳鼻科を受診。右耳下腺下部に弾性軟の腫瘤を触知、頸部リンパ節腫大はない。単純CTでは右耳下腺内に筋と等吸収で、境界明瞭な2cm大の腫瘤が見られた。MRIではT2強調像で高信号、T1強調像で筋と等信号で、ダイナミック造影T1強調像で早期よりほぼ均一に濃染した。手術が施行され、Castleman病(硝子血管型)と診断された。

## 頭頸部 演題-7 右上顎洞内を占拠した Odontogenic myxofibroma の一例

筑波大学附属病院・放射線科、同・耳鼻科<sup>1)</sup>、同・病理部<sup>2)</sup>

佐藤英樹、岡本嘉一、森 健作、南 学、和田哲郎<sup>1)</sup>、杉田真太郎<sup>2)</sup>、野口雅之<sup>2)</sup>

【要旨】顎骨の Odontogenic myxofibroma は稀な組織型でこれまで画像の報告は殆どないが、今回我々は右上顎洞内を占拠した14歳男児の症例を経験したので画像と病理の詳細な対比を加えて報告する。

## 頭頸部 演題-8 64列MDCTを用いた後上歯槽動脈のCT所見

日本大学松戸歯学部・放射線学講座

加藤美弥, 阪柳雅志, 月岡庸之, 関谷恵子, 堤 豊重, 関谷浩太郎, 金田 隆

【要旨】64MDCTにて撮影したCT前額断像を用いて、顎動脈の枝である後上歯槽動脈の走行や分布状態の比較検討を行った。

## 頭頸部 演題-9 耳下腺腫瘍との鑑別が難しかった炎症性腫瘍の2例

自治医科大学・放射線医学教室、同・病理学教室<sup>1)</sup>

藤田晃史、河合 陽、中田有香、木島茂喜、坂本敦子、佐藤陽介、竹内美砂子、杉本英治  
金井信行<sup>1)</sup>、田中 亨<sup>1)</sup>

【要旨】症例はいずれも50代女性で左耳前部腫瘍を自覚。当初画像所見からは炎症性変化を考えていたが、増大傾向を認め、腫瘍を否定できないため切除。病理はperiosteal fasciitisとnecrotizing granulomaであった。

## 頭頸部 演題-10 上顎骨中心性癌の1例

昭和大学歯学部・歯科放射線学教室

木村幸紀, 花澤智美, 岡野友宏

【要旨】今回われわれは、上顎骨中心性癌の1例を経験したので報告する。症例は37歳・男性。主訴は、右側口蓋部の有痛性腫脹。パノラマ写真では上顎嚢胞様の所見を呈していたがCTでは骨破壊がみられ悪性腫瘍が示唆された。

---

17:35 閉会の辞

黒崎喜久

---

17:40 情報交換会

# 東京ステーションコンファレンス アクセスマップ

## サピアタワーへのご案内

GUIDE MAP FOR SAPIA TOWER



JR 東京駅から……八重洲北口から徒歩 5 分です。  
 地下鉄大手町駅から……東西線大手町駅 B7 出口直結です。  
 〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目 7 番 12 号サピアタワー  
 TEL03-6888-8080



**CONTRAST MEDIA**



人にやさしい医療へ

造影剤 造影剤 造影剤 造影剤 造影剤	MRI用造影剤 非イオン性X線造影剤 尿路・血管造影剤 リガ(系)造影剤	<p><b>マグネスコープ®シリンジ</b>                  10mL 15mL 20mL (ボタテルメグミン注射薬)</p> <p><b>イマジニール® 300 350</b>                  20mL 50mL 100mL (イオキソラン注射薬)</p> <p><b>ヘキサブリックス®320</b>                  20mL 50mL 100mL (イオキサザル注射薬)</p> <p><b>リビオドール®ウルトラフルイド</b>                  10mL (ヨド化ケチル造影剤エチルエスチル注射薬)</p>
---------------------------------	---	---

(注) 処方せん医薬品。注意—医師等の処方せんにより使用すること。  
 ※ 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意については、添付文書をご参照ください。

製造販売元  
**ゲルベ・ジャパン株式会社**  
 〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目5番10号

販売元 (資料請求先)  
**テルモ株式会社**  
 〒151-0072 東京都渋谷区横ヶ谷2丁目44番1号 <http://www.terumo.co.jp/>

マグネスコープ、イマジニール、ヘキサブリックス、リビオドールは、ゲルベ社の登録商標です。 © TERUMO はテルモ株式会社の登録商標です。 © テルモ株式会社 2006年8月